

生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）についての市民説明会 制度設計（案）目次順質問

制度設計（案）目次	質問の概要
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度のハイランド地区での生ごみ分別モデル事業の結果を踏まえ、燃やすごみの約 4 割が生ごみという数値が出ているのか。
2 生ごみ資源化の意義	
(1) 排出抑制推進施策	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理容器はどの種類でも対象になるのか。対象が増えると財政ひっ迫も懸念されるが大丈夫なのか。 生ごみ処理容器の補助率が上がった経緯を教えてください。 生ごみ処理容器は何台持ってもよいのか。 マンションでは生ごみ処理容器でできた堆肥を活用しきれない。できた堆肥はどうするのか。市が受け入れてくれるのか。
4 家庭からの生ごみの分別排出	
(1) 生ごみの定義	
(2) 対象とする生ごみの範囲	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの範囲を具体的に示してもらわないと困る。また、我が家のキエーロでは骨や貝は消えない。葉山町の施設では消えるのか。 生ごみを自家処理している家庭は、分解しにくい貝殻や魚の骨しか生ごみとして残らない。このような生ごみがたくさん出てきたら、堆肥の品質を担保できるのか。 生ごみの分別が始まったら、ティッシュはどちらに入れるのか。 おむつ、生理用品はどちらに入れるのか。 貝殻は生ごみか燃やすごみか。 生ごみは、新聞紙で水分を吸収させ、燃やすごみとして出している。今後は、新聞紙はどうすればよいか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・固めた油や油を吸着させた新聞紙は燃やすごみか。 ・水切りネットは生分解性ではない。そのまま出せるのか。 ・夏場は、生ごみが腐らないように、ビニール袋に入れて冷凍している。この場合、袋を破って、生ごみのみを生ごみ用ごみ袋に入れるのか。油料理の場合、新聞紙や布で食器を拭く。今までは、燃やすごみに入れていたが、生ごみと一緒に出せるのか。
(3) 生ごみの排出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみは水切りネット、ビニール袋に入れたままでの排出でよいのか。 ・二重袋で排出してよいのか。 ・生ごみはどうしても水分が多く含まれ乾かすのに時間がかかるため、新聞紙で水を吸ってから出している。水切りに使用した新聞紙も生ごみとして出してよいのか。 ・葉山町では指定袋の内袋に生分解性プラスチックの袋を使うことを検討しているようである。逗子では検討しないのか。 ・生ごみ用ごみ袋は機械が破り選別するとの話だが、自然に分解される袋（生分解性プラスチックの袋）を利用してはどうか。 ・指定袋を生分解性プラスチックにすればよいと思うがどうか。 ・生ごみ用ごみ袋の黄色はカラス対策なのか。 ・黄色の袋はカラス対策としての黄色なのか。塗料の練り込んだカラス対策の袋を作製しているところもあると聞く。
(4) 手数料の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物は無料という考えならば、生ごみも無料とするべきではないか。
(5) 手数料徴収の方法	
(6) 指定ごみ袋の種類・形状	<ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋をロール式のものにできないか。袋式だと保管場所をとる。
(7) 販売方法	
(8) 手数料の減免	<ul style="list-style-type: none"> ・減免世帯に配付している指定ごみ袋だが、使い切れない現状である。配付量が適正か市で利用状況を把握しているのか。無駄をなくすためにも足りない分を配付するという方法を検討してはどう

	か。
5 収集・運搬	
(1) 収集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市で使用しているような生ごみ用のコンテナは市が用意するのか、自治会が用意するのか。 ・違反ごみがあった場合は数日間置いた後に回収されるが、生ごみでも同様か。臭いやカラスの点からも心配である。 ・ネットボックスの更新を考えているが、生ごみ収集が始まった後もネットボックスでの収集は継続するのか。ネットボックスでの収集がなくなる可能性はあるか。 ・生ごみ分別にあたり、事前の実証実験をしたのか。 ・燃やすごみに生ごみが混在してしまった場合は、違反ごみとして放置されるのか。 ・カラス対策は各自自治会費用で行うということか。ネットボックスに付けるプラバン費用は補助の対象ではないということで、自治会で費用を出している。説明にあったコンテナの補助金を少しでも出してもらえないか。 ・ハイランド地区の生ごみ分別モデル事業とは何か。 ・ごみ出しルールを守らない人がいる。生ごみの中に汚れたプラスチックが入っていたら、置き去りにされるのか。ハイランド地区での生ごみ分別モデル事業ではどのような結果だったのか。 ・様々な自治体を視察してよかった点や課題がいくつかあったと思う。具体的にはどうだったのか。
(2) 収集回数	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみと燃やすごみで収集員が別々だと取り漏れが出てしまわないか。 ・生ごみと燃やすごみの収集日を同じ日にするのは決定か。生ごみと燃やすごみを収集する車が分かれ、違う場所へ運ぶのであれば、別々の日にするべきではないか。
(3) 生ごみの運搬	
6 生ごみの資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥はどのように配布するのか。有料か無料か。 ・堆肥の配布は無料か有料か。 ・堆肥の市民還元方法は。

	<ul style="list-style-type: none"> ・できる堆肥は、観光農業にしか使えないということか。 ・計算すると製品である堆肥は年間 100 トンできる。処理するには 10ha から 5 ha の畑が必要だが、行先はどうなっているのか。 ・3～8パーセントしか堆肥ができないと記載があり効率が悪い気がするが、その程度でもコストパフォーマンス的に問題ないという結論なのか。 ・年末は収集が止まるため正月明けに大量の生ごみが出るが、施設の処理能力で対応できるのか ・生ごみは三角コーナーのネットや小袋のまま出せるということだが、葉山町の施設でネットや袋を選別する作業は大変ではないか。 ・生ごみを堆肥化する際に残渣はどの程度出る想定か。 ・不純物はどの程度とれるのか検討しているか。シミュレーションしたか。 ・できた堆肥は有機 JAS 認定を取れる品質か。堆肥化した際のナトリウムの混入は問題になるが確認しているのか。 ・生ごみ資源化施設の設置場所はどこか。 ・生ごみ資源化施設の設置に町民の了解は得られているのか。 ・施設について、専門家によるバリューエンジニアリングの予定はないか。 ・味噌汁のような塩分を含むものを生ごみとして出しても堆肥の品質に問題ないか。 ・異物が混入した場合、環境クリーンセンターで手選別をしていると聞いた。生ごみの袋に異物が混ざった場合、堆肥の品質に影響はないのか。 ・計画施設規模は 10 トン/日と書いてあるが、どのような意味か。また堆肥が余った場合は販売する等を考えているのか。 ・COP26 が開催された。堆肥化施設ではメタンを多く出すと見えてしまう。10t 規模のバイオガス化施設を作っているメーカーもある。堆肥化は、目の前のごみが無くなればよいというように見えてしまう。将来を考えたサステイナブルな計画に見えないが、いかがか。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみのバイオガス化施設を検討したが適当ではないと判断された経緯は。
7 広域処理による財政効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの分別収集開始後の財政効果が1億3,000万円の削減とあるが、これは葉山町に支払う生ごみ手数料を含んだ数値なのか。 ・1億3000万円の財政効果で大部分を占めるのは何か。 ・鎌倉市から燃やすごみを受け入れなかった場合、生ごみ処理開始に伴い支出が増えるのか。 ・鎌倉市からの受け入れが始まると渋滞も予測される。どう対策するのか。 ・広域化の中で鎌倉市はどのような役割を担うのか。逗子市に負担金を払うだけに感じてしまう。 ・令和7年度から鎌倉市の燃やすごみを受け入れるとあるが、広域化における鎌倉市の役割は何か。 ・なぜ鎌倉市の受け入れが必要なのか。 ・鎌倉市のごみを受け入れることによる収入と生ごみ資源化に伴う支出の収支はどうなっているか。 ・財政効果の説明の中で、令和7年度から逗子市の負担額が激減している。その大きな要因は何か。 ・逗子の焼却炉が廃止した後の環境クリーンセンター跡地はどう活用するのか。跡地に生ごみ処理施設を造ってはどうか。 ・現状でもごみ分別が煩雑なのに、生ごみ分別が始まると精神的な負担が大きい。市民が生ごみを分別することによりどの程度の財政効果があるのか。 ・人口比で鎌倉市と逗子市のごみ処理負担額を比べると、逗子市の負担額が多い気がする。 ・灰の処理経費は、葉山町も負担しているのか。 ・財政効果には、生ごみ処理施設の建設費が含まれているのか。 ・生ごみ資源化施設の建設・運営経費はどうか。逗子市の負担は。 ・生ごみ資源化経費の内容は運営費か。
8 広域処理による環境保全効果	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全効果（説明資料25ページ）について説明が欲しい。 ・各家庭での自家処理によるメタン発生量総量と施設でのメタン発生量はどちらが少ないか。

9 事業系ごみの取り扱い	
10 スケジュール（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題は、個人差が大きい。関心のない人からしたら生ごみ分別は手間が増えるだけと思われる。関心のない人に自分事として考えてもらうために啓発は重要と考えているが、市では具体的に考えているのか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子市のし尿、浄化槽汚泥の処理を葉山町に委託しているとのことだが、逗子市の浄水管理センターで処理しているものとの違いは何か。 ・鎌倉市が埼玉県の寄居町で生ごみ処理をしているのは把握しているか。 ・乾式メタン発酵の施設に入ったものは生ごみの他に燃やすごみも含まれている。単純に1割程度しか資源化できないことを理由に検討しないのはおかしい。 ・乾式メタン発酵は汚れた紙も資源化でき、分別も不要。また副産物は使い勝手の良い電力。それを否定する材料が欲しい。 ・ディスプレイの推進や普及支援をしてみてもどうか。 ・身近に出る燃やすごみは分別させるのに、なぜ家電は収集してくれないものがあるのか。 ・分別アプリ「さんあ〜る」に、ごみの出し方について、市民からよくあるQ&Aを載せたらどうか。このアプリはパソコンでも使えるのか。 ・そもそも大都市の横浜市へもっていけば、細かい分別にしなくてもよかったのではないか。分別品目が増えることは市民負担ではないか。 ・米軍関係者が逗子市には多いと思うが、外国人向けの広報はどうするのか。 ・植木ごみをチップ状にして撒くことはできないか。市から機械は借りられないか。 ・葉山町の実証実験の内容が見たい。見る方法があれば教えてほしい。 ・容器包装プラスチックやペットボトルは海外へ輸出されていると聞く。きちんと資源化されているのか。 ・葉山町から、容器包装プラスチックの処理を受託とは、どのような処理か。

	<ul style="list-style-type: none">・廃食用油を資源化する予定はあるか。・逗子市の最終処分場はどの程度で満杯にあってしまうのか。満杯になってしまったらどうするのか。・ふれあい収集とは何か。・ふれあい収集を利用しているも、高齢者はそもそも分別ができない。その場合はどうするのか。・葉山町は白色トレイや製品プラスチックなども集めており、逗子市と葉山町で分別種別が違う。容器包装プラスチックは逗子市で葉山町の分も資源化しているが、それらが混在してしまっても問題ないのか。・メタンの件について検討するかどうか、一言いただきたい。納得しろよという説明会だったら今日来たことを後悔する。
--	--